

2016年6月14日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直
(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、オーストラリアの有力デジタルマーケティング・エージェンシー 「サーチ・ファクトリー社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、オーストラリアの有力デジタルマーケティング・エージェンシーである「Search Factory Pty Ltd」（本社：ブリスベン市、CEO：Michael Bell、以下「サーチ・ファクトリー社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

ブリスベン市はオーストラリアでシドニー市、メルボルン市に次ぐ広告市場となっており、サーチ・ファクトリー社の買収はブリスベン市を含むクイーンズランド州、ひいてはオーストラリア全土でのビジネスの拡大を目指すものです。

2011年に設立されたサーチ・ファクトリー社は、SEMやパフォーマンス領域のデジタルマーケティング・サービスに強みを持っており、小売業やサービス業を中心としたローカルおよびグローバルの顧客からの高い評価を得ることで急成長してきました。

株式取得後、当社はサーチ・ファクトリー社を、当社グループの9つのグローバルネットワーク・ブランド[※]の1つで、同様のデジタルマーケティング事業を同社以外にブリスベン市で唯一展開するiProspect（アイプロスペクト）のネットワークに組み込みます。

iProspectブランドは現在もAPAC（アジア太平洋）をリードするデジタルマーケティング・エージェンシーですが、今回のサーチ・ファクトリー社および直近のスコーチ社の買収により、同ブランドはオーストラリアにおいても200名以上の従業員を抱える最大規模のデジタルマーケティング・エージェンシー・グループへと進化します。

今後、サーチ・ファクトリー社はブランド呼称をSearch Factory | iProspect（サーチ・ファクトリー | アイプロスペクト）とし、グループ会社との連携によりシナジーを生み出していくことで、オーストラリアでの成長戦略を加速させていきます。

当社グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーであるCarat（カラ）が行っている世界の広告費成長率予測（2016年3月）によると、オーストラリアの2015年のデジタル広告費は、前年比で11.8%増でした。2016年と2017年もそれぞれ7.8%増、7.3%増と堅

調な成長が続くと予測しています。

なお、本件が当社の 2016 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※ 電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、9つのグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。9つのブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Branded Agencies)、Dentsu media、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【サーチ・ファクトリー社の概要】

社 名 : Search Factory Pty Ltd
本社所在地 : オーストラリア・クイーンズランド州・ブリスベン市
設 立 : 2011 年 5 月
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%
収益(Revenue) : 240 万オーストラリアドル（約 1.9 億円）（2015 年 12 月期）
代 表 者 : Nic Blair（創業者）
Michael Bell (CEO)
従業員数 : 24 名
事業内容 : デジタルマーケティング全般のサービスを提供

以 上